

第6次環境ボランティアプラン 【2017～2020年度】

【2】資源循環

領域	項目	2020年度までの 目標・取り組み	2017年度		2018年度 目標・取り組み	
			目標	年度実績		
商品	リサイクル性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自動車リサイクル法への対応を継続</li> <li>◆ 部品取り外し性・材料分離・分別性向上への取り組みを継続</li> </ul>	◇ 新型車のリサイクル配慮設計を推進し、2020年度リサイクル実効率95%とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ リサイクル実効率95%以上を維持</li> <li>◇ リサイクル配慮設計の推進を継続</li> </ul>	・ リサイクル実効率95%以上を達成	・ 電動車も含め、リサイクル配慮設計を継続し、リサイクル実効率の達成を目指す
	ライフサイクルアセスメントの推進	◆ CFRPリサイクル技術への取り組み	◇ CFRP製品の易解体性に関する技術開発の推進	◇ 易解体性を配慮した技術開発を推進	・ リサイクル配慮設計を織り込んだ技術開発を推進した	・ 易解体性を配慮した技術開発を継続推進
		◆ ライフサイクルアセスメント(LCA)データの公開を推進	◇ フルモデルチェンジ車からLCAデータの公開を推進	◇ モデルチェンジのタイミングで速やかにデータを開示内容の充実も図る	・ 該当車種無し	・ 新型フォレスターやハイブリッド車などを公開予定
生産	国内販売店・解体業者	◆ 処理困難物の処理スキーム確立	◇ リサイクルと適正処理の強化	◇ 処理・リサイクルの検討ならびに実証推進	・ 処理・リサイクルの実証を行うと共に、さらなる処理高度化の仕組みを確立	・ リサイクル・処理高度化の推進と実証実験
	生産工場	◆ 廃棄物の適正処理、発生量抑制の維持管理を継続	◇ 廃棄物の適正処理と、歩留まり向上・荷姿改善等による維持管理を継続	◇ 歩留り改善継続と発生数量の見通し把握と発生抑制維持管理	・ 廃棄物の発生量実績、本年度目標の約97%に抑制	・ 分別徹底と有償化で、廃棄物発生量の抑制を継続
		◆ 国内外生産工場のゼロエミッションを継続 (直接、間接を問わず埋め立て処分量ゼロレベル)	◇ 国内外生産工場のゼロエミッションを継続	◇ 国内外生産工場のゼロエミッションを継続	・ 国内外工場共にゼロエミッションを達成	・ 国内外生産工場のゼロエミッション継続
		◆ 国内外生産工場における水使用量を管理	◇ 国内外グループ会社を含めた、生産工場における水使用量を管理	◇ 国内外グループ会社を含めた、生産工場における水使用量を管理	・ 国内外グループ会社を含めた、生産工場における水使用量の適正管理を実施	・ 国内外生産工場における水使用量の適切な管理を推進